

【とうきょう すくわくプログラム活動報告書】

園名:すぎなみのぞみ保育園(4歳児クラス)

活動日時:2026. 6. 9(火)10時から

1. 活動テーマ

<テーマ>

『音、耳』

さまざまな場所で音を聞いたり、音を感じたり、音ってなんだろうと考えてみる。

<テーマ設定理由>

保育の中での子どもたちの声、歩く音、車の音、歌、鳥の声などたくさんの音にあふれている。音ってなんだろう、聞くとってなんだろう、聞いて感じてどのような活動に繋がっていくのだろう、どんな発想が出てくるのだろう。子どもたちと一緒に楽しみたい思いで設定した。

2. 活動スケジュール

静かな場所で音を聞いてみる。(荻窪八幡)
アニメーションミュージアムに行く。
原っぱ公園を歩いて帰ってくる。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

カメラ、散歩用リュック。事前予約。
クラス(5名)単独での散歩のため担任以外に職員一名。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

事前に子どもたちと行きたい場所(アニメーションミュージアム)を決めた。
当日はその近くの荻窪八幡神社にも寄って静かな環境のなかで音を聞く。アニメーションミュージアムでは自由に見学し、30分弱の映像をみる。
帰りはいつもあそんでいる原っぱ公園に寄って園に戻る。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

神社に入るときに「静かに入ろう」とこちらが声をかけると、「静かにだね」「静かにだよね」と子ども同士で声を掛け合っている。また、その声と連動して動きも静かにゆっくりになっていた。神社の木が多いところで一緒に耳をすませてみたが、思ったよりも自然の音は聞こえなかった。

アニメーションミュージアムで映像を見る前に拍手をする動作をしたところ、「あれ、パーだと音がするけどグーだとしない」と言った子どもがいた。それを聞いたまわりの子どもたちが真似をしたり、保育士の「指だと?」という問いかけに試してやってみて「(音)出ないよ」「(指)2本だとどうかな」と会話と行動が広がっていった。

帰り道、原っぱ公園に鴨がいた。(前日に雨が降った)「(鴨が)泥に入っているんじゃない」と言う子どもの声をうけ、静かに近寄る。子どもたち自身が鴨を驚かせないように声を出さず、動きも静かに近づいて行った。その時に友だちとの「静かにしよう」とアイコンタクトで意思の疎通をする姿もみられた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

こちらが思っていたこととは違う子どもの気づきに活動の楽しさを感じられた。少人数で大人が2名つくことで時間にも気持ちにも余裕をもって、子どもたちの声に耳を傾け丁寧に対応することができた。

静かな場面では、こちらが言わなくても、子どもたちは声を小さくし動きも音をださないようにしていた。

音の出る、出ないことの不思議さにも気づいていて、こちらが思いつかない発見もあった。今後、日常の保育の中で試していけたらいいと思う。

少人数での活動で子どもたちの声をこちらがよく聞き、聞くことでやりとりがはじまり、さまざまな方向へ発見や興味が広がっていくことを楽しみながら体験することができた。